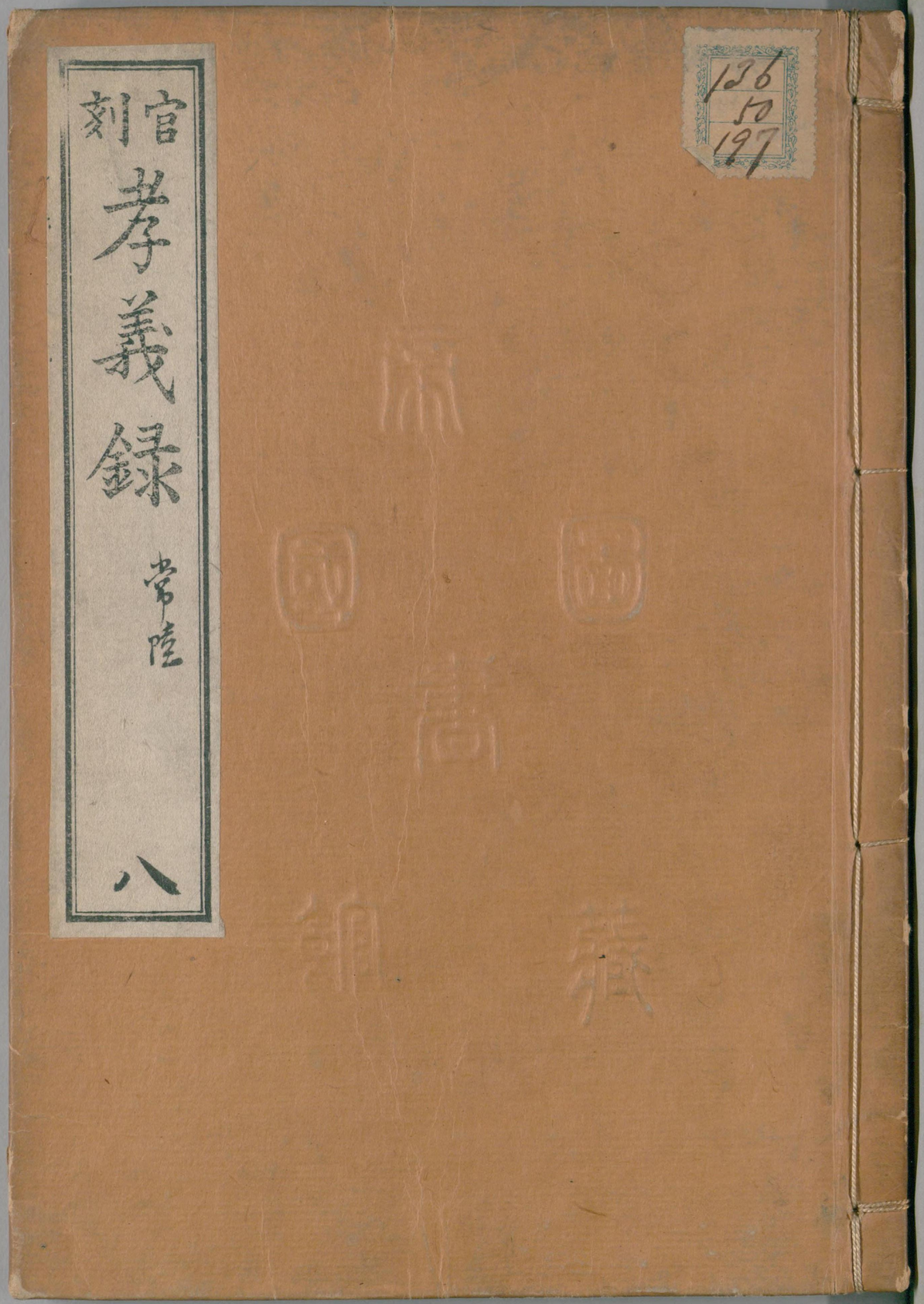

136
50
197

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

官刻

孝義録

常陸

八

136
50
197

東京圖書館

和書門	傳記類	一三六七函 五	八架	一二八號	五の册

国立国会図書館　タイトル『孝義録』 請求記号 136-197

ガラス使用

由第百號

孝義録巻之八

明治九年文部省交付

TOKIO LIBRARY

帝国図書館

常陸国

孝行者	乳母	瞳	代官支配所	百姓	百疋
奇特者			筑波郡荒寺村新田	庄屋	庄屋
奇特者			水戸殿領分	庄屋	庄屋
奇特者			多賀郡大久保村	庄屋	庄屋
孝行者	同領	久慈郡深又村	同領	庄屋	百疋金三郎後家
奇特者	同領	久慈郡高倉村	同領	庄屋	庄屋
奇特者	同領	久慈郡天下野村	同領	庄屋	庄屋
孝行者	同領	茨城郡大部村	角右衛門 六十五歳	寛政九年	褒美
			新五郎 四十五歳	元禄八年	褒美
			忠三郎 六十歳	元禄十四年	褒美
			吉兵衛 五十歳	元禄十四年	褒美
			八右衛門 四十歳	元禄十四年	褒美
			名不知 歳不知	宝永元年	褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　同領　那珂郡長洋村
農業兼稽　同領　那珂郡高部村
奇特者　同領　那珂郡秋田村
奇特者　同領　水戸城下上金町
孝行者　同領　水戸城下泉町
孝行者　同領　水戸城下銭町
孝行者　同領　同所
孝行者　同領　同所

百姓重吉後家
百姓二右衛門後家
庄屋
町年寄並　塙義次右衛門　五十歳
町人伊勢屋　喜八　四十歳
町人借屋住吉左衛門　甚蔵　十八歳
甚蔵妻　玄東　十二歳
同　年之助　十歳

名不知　寛永元年　寡婦
宝永元年　寡婦
久右　六十二歳
正徳五年　寡婦
享保十年　寡婦
享保十年　寡婦
享保十年　寡婦
同時　寡婦
同時　寡婦

孝行者　同領　水戸城下弥兵衛町
孝行者　同領　水戸城下魚町
風俗厚者　同領　那珂郡上檜沢村中手
奇特者　同領　多賀郡友部村
奇特者　同領　同所
○孝行者　同領　水戸城下下金町
奇特者　同領　同所
奇特者　同領　多賀郡下手綱村

町人
町人
百姓
七兵衛妻　七十二歳
町人改名惣蔵
町人借屋住
村年寄

伊兵衛　五十歳
甚七　二十七歳
百姓三十人
七兵衛　七十二歳
ちよ　十六歳
名不知　歳不知
半之亟　歳不知
庄之右衛門　四十七歳

享保十年　寡婦
享保十年　寡婦
享保十二年　寡婦
享保十二年　寡婦
享保十二年　寡婦
同時　寡婦
享保十四年　寡婦

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

寄特者　同領那珂那上小瀬村
寄特者　同領久慈那西河内中村
寄特者　同領多賀那大中村
風俗冥著　同領久慈那町屋村峯田坪
貞義者　同領茨城那大山村
寄特者　同領久慈那下檜村
貞義者　同領久慈那東上河村
風俗冥著　同領那珂那平磯村

組頭　庄屋　百姓　百姓長吉厄介後家　百姓久兵衛母　百姓林七後家

吉兵衛　五十二歳　享保十九年褒美
孝右衛門　五十二歳　享保十九年褒美
利兵衛　五十五歳　元文三年褒美
百姓十四人　延享二年褒美
七津　五十三歳　寛延元年褒美
淳吉　三十二歳　寛延二年褒美
惣百姓　寛延三年褒美

寄特者　同領久慈那高倉村
農業出精　同領同所
風俗冥著　同領同所
風俗冥著　同領同所持方坪
孝行者　同領久慈那留間村
寄特者　同領多賀那秋山村
風俗冥著　同領同所

庄屋　百姓　百姓清右衛門妻　庄屋　百姓

吉兵衛　五十九歳　寛延三年褒美
元右衛門　六十七歳　同時褒美
惣百姓　同時褒美
百十七人　同時褒美
志助　三十五歳　寛延三年褒美
孝右衛門　五十二歳　宝暦元年褒美
八左衛門　五十五歳　同時褒美
惣百姓　同時褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　茨城郡常葉村　百姓　三郎次妻　三郎次　行年九歳
孝行者　同領　同所　百姓　こう　行年一歳
奇特者　同領　那珂郡中居村　百姓　紋平　行年六十三歳　宝暦二年褒美
奇特者　同領　多賀郡赤濱村　百姓　源之丞　行年三十六歳　宝暦三年褒美
奇特者　同領　多賀郡木皿村　百姓　平義　行年三十八歳　宝暦三年褒美
奇特者　同領　多賀郡友部村　百姓　清吉　行年七歳　宝暦三年褒美
貞節者　同領　那珂郡舟生村　百姓　為治　行年四十歳　宝暦五年褒美
孝行者　同領　多賀郡小菅村　百姓　七郎次　行年二十二歳　宝暦六年褒美

奇特者　同領　久慈郡細田村　百姓惣助母　せん　行年五十八歳　宝暦六年褒美
孝行者　同領　那珂郡菅本村　水呑　軍蔵　行年三十七歳　宝暦六年褒美
奇特者　同領　久慈郡宮田村　居屋　伊兵衛　行年五十六歳　宝暦六年褒美
貞節者　同領　那珂郡下村田村　百姓若義後家　なを　行年四十六歳　宝暦六年褒美
奇特者　同領　多賀郡里川新田　先居屋　長兵衛　行年五十九歳　宝暦六年褒美
奇特者　同領　久慈郡岡田村　居屋　忠次兵衛　行年二十八歳　宝暦六年褒美
孝行者　同領　久慈郡高倉村　百姓市郎右衛門妻　里津　行年八十二歳　宝暦九年褒美
風俗篤者　同領　久慈郡町田村　居屋　十兵衛　行年不知　宝暦九年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

風俗厚者　同領　同所
風俗厚者　同領　同所
農業出精　同領　多賀郡徳田村ヒ方木手新田　百姓
孝行者　同領　水戸城下久保町　町人吹右衛門娘　町
孝行者　同領　水戸城下馬口労町二町目　町人家根屋文二郎妹
孝行者　同領　多賀郡川尻村　百姓七兵衛妻
孝行者　同領　同所　同
風俗厚者　同領　多賀郡小野矢指村小野坪

組頭　三人　百姓　八十二人　嘉兵衛　百歳　里津　三十二歳　さよ　二十七歳　小年次　五十歳　兵八　二十九歳　百姓　五人

宝暦九年　褒美
宝暦九年　褒美
宝暦九年　褒美
宝暦十年　褒美
宝暦十年　褒美
宝暦十年　褒美
同時　褒美
宝暦十年　褒美

孝行者　同領　多賀郡伊師本郷村　百姓
孝行者　同領　多賀郡伊師本之村　百姓
○農業出精　同領　那珂郡上小瀬村野深内深入坪　百姓儀兵衛妻
貧窮者　同領　那珂郡園長村　百姓
孝行者　同領　那珂郡古徳村　百姓
○孝行者　同領　那珂郡上小瀬村　百姓
農業精　同領　那珂郡上小瀬村　百姓
貧窮者　同領　那珂郡北堰之村　百姓文七妻

半次郎　五十八歳　宝暦十年　褒美
かや　五十八歳　宝暦十年　褒美
清兵衛　七十一歳　宝暦十一年　褒美
うん　三十九歳　宝暦十一年　褒美
勘兵衛　五十九歳　宝暦十一年　褒美
新吾　二十七歳　宝暦十一年　褒美
仁助　五十九歳　宝暦十一年　褒美
志津　三十九歳　宝暦十一年　褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　茨城郡栗野村　百姓林右衛門後家　ゆき　五十一歳　宝暦十一年褒美

孝行者　同領　久慈郡兒玉村　百姓　重藏　四十八歳　宝暦十一年褒美

風俗冥者　同領　多賀郡川尻村　惣百姓　宝暦十一年褒美

貞女者　同領　久慈郡町屋村　水呑源右衛門妻　志ゆん　四十歳　宝暦十二年褒美

孝行者　同領　那珂郡下村田村　百姓三郎右衛門後家　まき　四十歳　宝暦十二年褒美

風俗冥者　同領　久慈郡里野宮村　惣百姓　宝暦十三年褒美

孝行者　同領　水戸城下本一町目　町人九左衛門下男　善藏　歳不知　明和三年褒美

孝行者　同領　茨城郡常葉村　右藏　五十二歳　明和四年褒美

孝行者　同領　所　百姓　市兵衛妻　清　四十五歳　宝暦十一年褒美

農業出精　同領　那珂郡手田村　百姓　源七　四十歳　明和四年褒美

農業出精　同領　所　同　孫五郎　三十一歳　同時褒美

◎孝行者　同領　那珂郡大谷村　百姓次郎右衛門娘　かよ　四十三歳　明和四年褒美

奇特者　同領　那珂郡小場子村　百姓　藏藏　七十七歳　明和四年褒美

風俗冥者　同領　茨城郡金仔野村川涼地坪　組頭　百姓　十一人　明和四年褒美

奇特者　同領　那珂郡永堂村　小右衛門　五十九歳　明和四年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

忠孝者　同領久慈郡九貫村
寄特者　同領行方郡玉造村
孝行者　同領鹿島郡海老澤村
孝行者　同領水戸城下本一町目
農業精　同領多賀郡赤濱村
孝行者　同領茨城郡見和村
孝行者　同領久慈郡石名坂村
孝行者　同領多賀郡油縄子村

百姓
組頭
百姓
町人借屋住
組頭多先年ノ件
百姓
百姓

百姓忠助倅代下男　吾七　六十八歳　明和四年褒美
組頭　弥平次　七十一歳　明和四年褒美
百姓仁右衛門娘　もよ　二十五歳　明和四年褒美
百姓兵蔵妻　已之助　十九歳　明和四年褒美
百姓　祐助　二十歳　明和五年褒美
百姓　志佐　三十歳　明和八年褒美
百姓　与八　四十六歳　明和八年褒美
百姓　六右衛門　七十八歳　明和八年褒美

孝行者　同領同断
孝行者　同領多賀郡會瀬村
孝行者　同領多賀郡大久保村
貞婦者　同領多賀郡大久保村
貞婦者　同領久慈郡田渡村
孝行者　同領那珂郡仌連村
孝行者　同領那珂郡門部村
孝行者　同領那珂郡下岩瀬村

六右衛門倅
百姓源次郎妻　里時　六十二歳　同褒美
百姓清次郎後家　さと　四十三歳　明和八年褒美
百姓弥平次妻　さよ　五十歳　明和八年褒美
百姓兵七妻　くら　六十八歳　明和八年褒美
百姓清次郎後家　ふの　四十一歳　明和八年褒美
百姓　源右衛門　四十三歳　明和八年褒美
百姓　九平　六十一歳　明和八年褒美
百姓　兵七　三十九歳　明和八年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

負義者　同領　久慈郡相川村古新田　百姓　泳平次妻　七十四歳　明和八年褒美

孝行者　同領　那珂郡中関村　百姓　甚七　七十六歳　明和八年褒美

農業精　同領　久慈郡細田村　百姓　七兵衛　三十九歳　安永元年褒美

孝行者　同領　那珂郡石神外宿村　庄屋　富七　七十六歳　安永元年褒美

奇特者　同領　多賀郡豊田村　百姓　弥市　七十三歳　安永元年褒美

奇特者　同領　多賀郡田尻村　庄屋　丹八　五十歳　安永元年褒美

奇特者　同領　茨城郡天山村　百姓　丹次妻　死後　安永元年褒美

奇特者　同領　茨城郡下伊勢畑村　庄屋　吉兵衛　七十二歳　安永元年褒美

奇特者　同領　那珂郡瓜連村　庄屋　傳十　七十二歳　安永元年褒美

孝行者　同領　水戸城下鉄炮町　町人借屋住青賣　清十　二十八歳　安永元年褒美

孝行者　同領　水戸城下紙町　町人妻屋四郎平娘　長十　七十三歳　安永元年褒美

孝行者　同領　水戸城下壘町　町人借屋住忠兵衛娘　ひさ　三十一歳　安永元年褒美

農業精　同領　那珂郡上檜沢村　百姓　六右衛門　五十一歳　安永二年褒美

○奇特者　同領　久慈郡春友村　百姓　重右衛門　七十二歳　安永二年褒美

奇特者　同領　多賀郡大菅村　庄屋　庄之助　七十三歳　安永二年褒美

負義者　同領　那珂郡須和間村　百姓忠次厄妻　さか　三十歳　安永二年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

農業出精　同領　多賀郡黒川新田
奇特者　同領　那珂郡下岩瀬村
○忠義者　同領　水戸城下馬口労町
農業出精　同領　多賀郡諏訪村
奇特者　同領　久慈郡玉潤村
奇特者　同領　久慈郡中野村
奇特者　同領　久慈郡川合村
奇特者　同領　久慈郡岩崎村

百姓伊助後家　七ノ八
百姓　うよ　五十六歳　安永二年褒美
祖母　弥兵衛　六十三歳　安永二年褒美
百姓　新六　歳不知　安永二年褒美
百姓　小兵衛　八十二歳　安永三年褒美
百姓　源兵衛　五十七歳　安永三年褒美
百姓　茂慶　三十四歳　安永三年褒美
百姓　新二郎　五十七歳　安永三年褒美
先祖百　三兵衛　年八十歳　安永三年褒美

農業出精　同領　久慈郡袋谷村
孝行者　同領　久慈郡下小川村
孝行者　同領　久慈郡梶畑村
孝行者　同領　那珂郡山方村
農業出精　同領　那珂郡宇留野村
兄弟睦者　同領　那珂郡上岩瀬村
農業出精　同領　那珂郡上岩瀬村
孝行者　同領　那珂郡南酒出村

百姓忠右衛門妻
百姓
百姓
百姓
百姓
百姓武右衛門妻
百姓与平次方
百姓彦四郎妻
百姓

みよ　三十五歳　安永三年褒美
義右衛門　六十歳　安永三年褒美
軍兵衛　六十歳　安永三年褒美
平兵衛　五十九歳　安永三年褒美
清右衛門　四十六歳　安永三年褒美
林助　四十九歳　安永三年褒美
こよ　三十四歳　安永三年褒美
伊助　三十二歳　安永三年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

貞義者　同領　久慈郡山田村
孝行者　同領　久慈郡蘆野舎村
孝行者　同領　久慈郡赤貫村
孝行者　同領　久慈郡槙野地村
孝行者　同領　久慈郡槙野地村
孝行者　同領　久慈郡槙野地村
孝行者　同領　久慈郡槙野地村
貞義者　同領　久慈郡初原村

百姓　友右衛門妻　えい　三十八歳　安永三年褒美
百姓　利右衛門　五十七歳　安永三年褒美
百姓　甚内　六十二歳　安永三年褒美
百姓　庄助伜　清内　四十二歳　安永三年褒美
百姓　伝兵衛後家　吉十　二十三歳　安永三年褒美
百姓　次郎兵衛後家　ふく　四十二歳　安永三年褒美
百姓　清内　四十二歳　安永三年褒美
百姓　利右衛門後家　まき　五十八歳　安永三年褒美
百姓　利兵衛後家　ふね　五十七歳　安永三年褒美

孝行者　同領　久慈郡大子村
奇特者　同領　久慈郡池田村
貞義者　同領　久慈郡浅川村
貞義者　同領　久慈郡浅川村
孝行者　同領　久慈郡中郷村
孝行者　同領　久慈郡高柴村
孝行者　同領　久慈郡西隈村
孝行者　同領　久慈郡芦間村

百姓　甚内　五十九歳　安永三年褒美
百姓　文次郎　五十八歳　安永三年褒美
百姓　銀内後家　安永三年褒美
百姓　忠三郎後家　そよ　四十歳　安永三年褒美
百姓　源八　五十歳　安永三年褒美
百姓　七郎次　六十五歳　安永三年褒美
百姓　平助　五十歳　安永三年褒美
百姓　まき　五十二歳　安永三年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領久慈郡東蓮寺村　百姓　長右衛門後家　志ほ　五十六歳　安永三年褒美

貞義者　同領久慈郡高柿村　百姓　金右衛門妻　志ま　五十六歳　安永三年褒美

貞義者　同領久慈郡岩子村　百姓　助右衛門妻　志ま　六十六歳　安永三年褒美

貞義者　同領久慈郡中利負村　百姓　九一兵衛妻　かん　五十一歳　安永三年褒美

貞義者　同領久慈郡苞房村　百姓　さく　二十一歳　安永三年褒美

孝行者　同領久慈郡小貫村　百姓　源四郎　四十五歳　安永三年褒美

奇特者　同領久慈郡小貫村　百姓　なほ　二十七歳　安永三年褒美

奇特者　同領久慈郡天神林村　百姓重左衛門父　利右衛門　五十一歳　安永三年褒美

孝行者　同領久慈郡川尻村　百姓　兵衛　五十一歳　安永三年褒美

孝行者　同領久慈郡大門村　百姓　兵助妻　志ま　五十九歳　安永三年褒美

孝行者　同領　同所　百姓　さく　二十八歳　同時褒美

貞義者　同領久慈郡中利負村　百姓七右衛門母　まん　五十八歳　安永三年褒美

奇特者　同領久慈郡町田村　先居屋　重右衛門　五十五歳　安永三年褒美

貞義者　同領久慈郡中野村　百姓店十後家　まん　二十八歳　安永三年褒美

孝行者　同領那珂郡下檜沢村　百姓　忠七　二十二歳　安永三年褒美

○奇特者　同領茨城郡下圷村　山横目　重左衛門　五十五歳　安永三年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

○負傷者　同領那珂郡戸崎村
農業出精　同領茨城郡上泉村
農業出精　同領那珂郡上小瀬村
孝行者　同領茨城郡高久村
負傷者　同領茨城郡下入野村
負傷者　同領行方郡南青柳村
兄弟睦宜　同領行方郡南青柳村
孝行者　同領行方郡芥窪村

百姓多吉妻　里津　三十五歳　安永四年褒美
組頭　新左衛門　四十三歳　安永四年褒美
百姓　源八　二十八歳　安永四年褒美
百姓　義蔵　四十九歳　安永四年褒美
百姓太兵次後家　志ま　四十一歳　安永四年褒美
百姓市郎右衛門妻　もと　四十歳　安永四年褒美
百姓忠右衛門妻　若菜　五十五歳　安永四年褒美
百姓　熊之助　四十歳　安永四年褒美

農業出精　同領行方郡芥窪村
農業出精　同領茨城郡小幡村
農業出精　同領行方郡蕨村
寄特者　同領茨城郡野田村
孝行者　同領行方郡玉造濱村
農業出精　同領茨城郡小吹村
寄特者　同領茨城郡宝蔵寺村

百姓次右衛門後家　てう　七十九歳　安永四年褒美
同娘　いち　四十二歳　同時褒美
百姓　泳濱　七十二歳　安永四年褒美
百姓　利左衛門　五十五歳　安永四年褒美
組頭　利左衛門　五十八歳　安永四年褒美
百姓　次郎　三十八歳　安永四年褒美
百姓　源右衛門　八十二歳　安永四年褒美
十人扶持　文右衛門　五十四歳　安永四年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

農業出精　同領　同所
農業出精　同領　同所
農業出精　同領　同所
農業出精　同領　同所
農業出精　同領　同所
農業出精　同領　茨城郡擂山村
農業出精　同領　同所
寺特者　同領　那珂郡枝川村

百姓
百姓
百姓
百姓
百姓
百姓
百姓
百姓

若益　同時　寛美
（五十歳）
百姓

發七　同時　寛美
（五十歳）
百姓

益十　同時　寛美
（二十六歳）
百姓

源益　同時　寛美
（四十二歳）
百姓

庄十　同時　寛美
（二十七歳）
百姓

久米之丞
源右衛門　安永四年　寛美
（四十三歳）
百姓

甚十　安永四年　寛美
（四十八歳）
百姓

孝行者　同領　茨城郡上古内村
百姓庄兵衛後家

負疾者　同領　茨城郡平須村
百姓

孝行者　同領　茨城郡鯉淵村
百姓

孝行者　同領　茨城郡大増狩
百姓

孝行者　同領　茨城郡岩船村
百姓

負疾者　同領　茨城郡勝見沢村
百姓軍兵後家

負疾者　同領　茨城郡田野村
百姓吉平妻

孝行者　同領　茨城郡赤塚村
百姓

半助　安永四年　寛美
（三十六歳）

くめ　安永四年　寛美
（五十九歳）

大八　安永四年　寛美
（十七歳）

發兵衛　安永四年　寛美
（三十四歳）

庄十　安永四年　寛美
（三十七歳）

さ紀　安永四年　寛美
（三十七歳）

さの　安永四年　寛美
（四十八歳）

利三郎　安永四年　寛美
（五十八歳）

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領　茨城郡見和村　百姓　庄兵衛　五十歳　安永四年褒美

孝行者　同領　茨城郡見川村　水呑　市郎右衛門　四十二歳　安永四年褒美

奇特者　同領　行方郡潮来村　庄屋　傳吉　四十六歳　安永四年褒美

奇特者　同領　茨城郡吉沼村　羽生村庄屋　甚兵衛　七十一歳　安永四年褒美

奇特者　同領　行方郡倉数村　庄屋　大郎兵衛　四十九歳　安永四年褒美

奇特者　同領　茨城郡小門村　百姓　茂右衛門　五十二歳　安永四年褒美

孝行者　同領　鹿島郡泉村　水呑忠助妻　ふさ　三十六歳　安永四年褒美

○負傷者　同領　鹿島郡神栖村　同領　行方郡潮来村　百姓　与兵衛　三十四歳　安永四年褒美

孝行者　同領　茨城郡細谷村　百姓平五郎後家　さん　三十四歳　安永四年褒美

孝行者　同領　茨城郡細谷村　水呑守八妻　むく　五十三歳　安永四年褒美

○奇特者　同領　茨城郡成沼村　百姓　理兵衛　七十四歳　安永五年褒美

○奇特者　同領　鹿島郡下檜沼村　同領　神栖村　庄屋　八郎右衛門　四十五歳　安永五年褒美

奇特者　同領　同領　同所　組頭　六人　同時褒美

風俗實者　同領　同領　同所　組頭　六人　同時褒美

奇特者　同領　茨城郡常葉村　百姓　半兵衛　六十一歳　安永五年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

風俗宜者　同領　同所名門坪

奇特者　同領　茨城郡成澤村

農業出精　同領　郡珂郡静村

孝行者　同領　郡珂郡小田部村

農業出精　同領　郡珂郡田崎村

農業出精　同領　郡珂郡下寺田村

農業出精　同領　茨城郡北方村手坪

貧窮者　同領　郡珂郡津田村

孝行者　同領　郡珂郡飯田村

孝行者　同領　郡珂郡中里村

貧窮者　同領　郡珂郡田崎村

孝行者　同領　郡珂郡上村田村

農業出精　同領　郡珂郡石塚村

孝行者　同領　郡珂郡福島村

孝行者　同領　郡珂郡福島村

孝行者　同領　郡珂郡八田村

組附　百姓二十二人　同時褒美

組附　百姓林義後家　安永五年褒美　六十七歳

組附　十人組附　祐助　六十一歳　安永五年褒美

組附　十人組附　又右衛門　五十三歳　安永五年褒美

組附　百姓　吉右衛門　四十七歳　安永五年褒美

組附　百姓　文四郎　五十九歳　安永五年褒美

組附　百姓　宗右衛門　四十八歳　安永五年褒美

永香　百姓　儀七　五十一歳　安永五年褒美

百姓義右衛門後家　七郎平　四十歳　安永五年褒美

百姓　重門　五十歳　安永五年褒美

百姓　小右衛門　五十七歳　安永五年褒美

百姓　半義母　さよ　六十七歳　安永五年褒美

百姓　墨六　三十五歳　安永五年褒美

百姓　若之平　四十一歳　安永五年褒美

百姓　若義　四十九歳　安永五年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　同領　非玗非小祝村　百姓　源重　安永五年　寮美　七十三歳

農業出精　同領　非玗非北埜子村　百姓　重蔵　安永五年　寮美　七十六歳

農業出精　同領　非玗非北埜子村　百姓　澤蔵　安永五年　寮美　五十二歳

貞女者　同領　非玗非高祝村　百姓清吾後家　せん　安永五年　寮美　年九歳

兄弟睦ミ　同領　非玗非入擣沢村　百姓　若助　安永五年　寮美　四十八歳

農業出精　同領　非玗非大名村老之峠坪　百姓　次郎左衛門　安永五年　寮美　六十七歳

農業出精　同領　同領　百姓　市平　同時　寮美　年九歳

農業出精　同領　同領　百姓　大助　同時　寮美　四十二歳

孝行者　同領　非玗非上小瀬村　百姓　甚助　安永五年　寮美　五十歳

奇特者　同領　非玗非小瀬村　百姓　次郎左衛門　安永五年　寮美　六十二歳

農業出精　同領　非玗非下小瀬村　百姓　さよ　安永五年　寮美　六十五歳

農業出精　同領　非玗非下小瀬村　百姓　長左衛門　安永五年　寮美　四十二歳

貞女者　同領　非玗非國長村　百姓　いん　安永五年　寮美　二十四歳

農業出精　同領　非玗非非賀村　百姓　又右衛門　安永五年　寮美　七十一歳

孝行者　同領　茨城非大山村　百姓　ちゆん　安永五年　寮美　年七歳

農業出精　同領　茨城非栗野村　百姓　ふく　安永五年　寮美　四十二歳

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　同領　茨城郡栗野村　百姓　次郎　六十歳　安永五年褒美

貞女者　同領　茨城郡北方村　百姓次席之法後家　ゟ津　五十六歳　安永五年褒美

孝行者　同領　茨城郡北方村　百姓　せき　四十七歳　安永五年褒美

孝行者　同領　茨城郡金仔野村　百姓　ゟ弥ゟ伝　五十三歳　安永五年褒美

孝行者　同領　茨城郡成沢村　百姓　清左衛門　四十六歳　安永五年褒美

奇特者　同領　茨城郡成沢村　百姓　ゟ幸ゟ兵衛　六十一歳　安永五年褒美

奇特者　同領　茨城郡成沢村　百姓　ゟ幸ゟ兵衛　六十一歳　安永五年褒美

孝行者　同領　茨城郡坏渡村　百姓　政右衛門　五十二歳　安永五年褒美

奇特者　同領　茨城郡常葉村　百姓　ゟ友ゟ兵衛　六十六歳　安永五年褒美

貞女者　同領　久慈郡袋田村　百姓　ゟ　三十五歳　安永五年褒美

貞女者　同領　久慈郡天下野村　百姓　ち　二十九歳　安永五年褒美

孝行者　同領　久慈郡恠系村　百姓　清蔵　六十歳　安永五年褒美

奇特者　同領　那珂郡山方村　百姓　三郎兵ゟ　五十一歳　安永五年褒美

孝行者　同領　久慈郡天下野村　百姓　さん　四十二歳　安永五年褒美

孝行者　同領　久慈郡高柴村　百姓　元十　五十三歳　安永五年褒美

忠義者　同領　水戸城下塩町　町人　権十　六十三歳　安永五年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領水戸城下裏口町目　町人　次助　五十一歳　安永五年褒美

奇特者　同領久慈郡岩田村　百姓　源左衛門　五十五歳　安永六年褒美

貧窮者　同領久慈郡町田村　百姓并七妻　まり　五十八歳　安永六年褒美

孝行者　同領久慈郡相川村　百姓　助兵衛　五十六歳　安永六年褒美

孝行者　同領久慈郡大子村　百姓　半七　五十四歳　安永六年褒美

貧窮者　同領久慈郡富岡村　百姓義右衛門後家　もよ　五十歳　安永六年褒美

奇特者　同領那珂郡石神内宿村　百姓　弥兵衛　五十九歳　安永六年褒美

孝行者　同領久慈郡釈迦堂村　百姓　源之丞　五十九歳　安永六年褒美

孝行者　同領久慈郡長谷村　百姓　林八　五十九歳　安永六年褒美

孝行者　同領久慈郡堅盤村　百姓　源左衛門　六十二歳　安永六年褒美

孝行者　同領多賀郡助川村　百姓并ニ云源娘　さん　五十歳　安永六年褒美

奇特者　同領那珂郡大窓村　百姓早助母　てう　五十五歳　安永六年褒美

孝行者　同領那珂郡額田村　百姓　清八　六十二歳　安永六年褒美

貧窮者　同領久慈郡須发村　百姓并七妻　かん　二十九歳　安永七年褒美

○孝行者　同領久慈郡稲木村　百姓并ニ云源後家　なを　五十歳　安永七年褒美

奇特者　同領久慈郡東谷村　百姓　甚三郎　五十五歳　天明元年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

亭特者　同領　那珂郡門部村　百姓与八妻　十八歳　天明元年褒美

○真孝者　同領　久慈郡小生瀬村　百姓与惣次妻　いそ　三十一歳　天明二年褒美

真孝者　同領　久慈郡上金沢村　居屋　志ん　三十二歳　天明二年褒美

亭特者　同領　新治郡宍倉村　大山寺　松延市之丞　五十六歳　天明二年褒美

亭特者　同領　新治郡宍倉村　大山寺　大崎次郎兵衛　五十七歳　天明二年褒美

亭特者　同領　行方郡清水村　大山寺　後藤惣次右衛門　五十九歳　天明二年褒美

亭特者　同領　茨城郡鳥内村　大山寺　天場勘助　四十五歳　天明二年褒美

○亭特者　同領　行方郡玉造村　大山寺　南部藤　四十八歳　天明二年褒美

孝行者　同領　茨城郡小幡村　百姓　孫兵衛　六十五歳　天明二年褒美

孝行者　同領　行方郡玉造村　百姓　孫兵衛妻　とら　六十二歳　同時褒美

孝行者　同領　同領　百姓　源蔵　七十五歳　天明二年褒美

農業出精　同領　行方郡玉造村　百姓　源蔵　七十五歳　天明二年褒美

農業出精　同領　行方郡玉造村　百姓　久兵衛　六十一歳　天明二年褒美

農業出精　同領　行方郡玉造村　百姓　次郎七　四十七歳　天明二年褒美

○兄弟睦者　同領　行方郡茂木村　百姓幸内伴　弟七　三十九歳　天明二年褒美

孝行者　同領　新治郡下玉里村　百姓　弟助　六十二歳　天明二年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　同領　行方郡麻木村　百姓　長蔵　ゟ七歳　天明二年褒美

○奇特者　同領　茨城郡谷高野村　市兵衛　二十八歳　天明三年褒美

奇特者　同領　同所　同時　熊吉　九歳　同褒美

○貞女者　同領　水戸城下下金町弐町目　入別役五右衛門妻　もよ　三十二歳　天明二年褒美

孝行者　同領　那珂郡湊村　百姓次三郎妻　伝十　三十八歳　天明四年褒美

孝行者　同領　鹿島郡磯濱村　百姓清兵衛水呑　く川　ゟ十七歳　天明四年褒美

兄弟睦　同領　鹿島郡磯濱村　町人　友重　ゟ十二歳　天明四年褒美

孝行者　同領　水戸城下裏六町目　百姓　幸七　五十七歳　天明四年褒美

孝行者　同領　茨城郡川和田村　百姓　茂十　三十六歳　天明五年褒美

孝行者　同領　茨城郡川和田村　百姓　新助　ゟ十五歳　天明五年褒美

農業精　同領　茨城郡川和田村　百姓勘助譜代下女　むめ　ゟ十三歳　天明五年褒美

忠義者　同領　久慈郡槇野地村　百姓伊兵衛後家　ほや　五十二歳　天明五年褒美

貞婦者　同領　水戸城下本五町目　町人長之助母　ゆき　ゟ十二歳　天明五年褒美

孝行者　同領　水戸城下本九町目　町人基八娘　やそ　三十歳　天明五年褒美

孝行者　同領　水戸城下裏七町目　町人　与十　五十九歳　天明五年褒美

孝行者　同領　水戸城下材木町　町人大工　吉蔵　ゟ十八歳　天明五年褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

奇特者　同領　水戸城下九町目　町人畳指　長次郎妻　年四十九歳　天明五年　褒美

奇特者　同領　同所　同　年四十歳　同時　褒美

忠義者　同領　水戸城下本町四町目　町人那波登長二郎奉　長六　年二十一歳　天明五年　褒美

孝行者　同領　水戸城下本大工町　町人庄次右衛門悴　次助　年二十二歳　天明五年　褒美

孝行者　同領　同所　同　百姓　孫十　年十九歳　同時　褒美

奇特者　同領　那珂那枝川村　居屋　白井小右衛門　年五十二歳　天明六年　褒美

奇特者　同領　同所　同　居士寺　勤次郎　年二十歳　同時　褒美

奇特者　同領　行方那玉造村　大山守　組頭　大場惣助　年二十八歳　天明六年　褒美

奇特者　同領　前沼那安食村　町人猪俣佐左平悴　久左衛門　年六十二歳　天明六年　褒美

孝行者　同領　水戸城下紙町　町人猪次郎妻　久孫　年三十七歳　天明六年　褒美

孝行者　同領　水戸城下下金町　水呑孫市悴　友吉　年十一歳　天明六年　褒美

孝行者　同領　行方那潮来村　百姓　孫四郎　年二十五歳　天明七年　褒美

農業出精　同領　茨城那奥谷村赤坂新田　居屋　武兵衛　年七十二歳　天明七年　褒美

奇特者　同領　行方那築地村　十人組孝七父　栄助　年四十一歳　天明八年　褒美

奇特者　同領　那珂那野口村　居屋　清重　年七十一歳　天明八年　褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

○負傷者　同領 行方郡濱村
○農業出精　同領 那珂郡東野村
○孝行者　同領 那珂郡八田村
○孝行者　同領 那珂郡八田村
○農業出精　同領 那珂郡戸崎村
○農業出精　同領 那珂郡後堂村
○孝行者　同領 同所
○孝行者　同領 同所

百姓義十後家　の元　四十八歳　天明八年　褒美
先十人組改帳ニ寡婦後家　まり　六十二歳　天明八年　褒美
百姓　喜七　四十一歳　天明八年　褒美
百姓長左衛門娘　里津　四十五歳　天明八年　褒美
百姓友吉妻　里元　五十五歳　天明八年　褒美
百姓　利兵衛　六十七歳　天明八年　褒美
利兵衛伜　喜重　三十五歳　同時　褒美
同　与重　三十一歳　同時　褒美

負傷者　同領 行方郡濱村
奇特者　同領 多賀郡下手綱村
奇特者　同領 久慈郡下幡村
農業出精　同領 久慈郡涂萩村
奇特者　同領 久慈郡白羽村
孝行者　同領 多賀郡大久保村
家内睦者　同領 多賀郡油縄子村
孝行者　同領 久慈郡坂型上村

百姓次左衛門娘　もよ　三十八歳　天明八年　褒美
山横目庄屋　大友若次左衛門　五十七歳　天明八年　褒美
百姓　喜重郎　三十二歳　天明八年　褒美
組ノ　多次右衛門　四十七歳　天明八年　褒美
庄屋　喜惣治　七十六歳　天明八年　褒美
百姓　隆教右衛門　五十九歳　天明八年　褒美
百姓　勝四郎　五十二歳　天明八年　褒美
百姓　久蔵　三十六歳　天明八年　褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領那珂郡額田村　百姓

奇特者　同領久慈郡小目村　醫者

孝行者　同領多賀郡宮田村　百姓

忠義者　同領那珂郡飯田野村　百姓

忠義者　同領同領所　竹十妻

孝行者　水戸敖家老中山備前守分久慈郡栗原村　百姓

孝行者　同領久慈郡下川合村　百姓

農業精　同領久慈郡西宮村　百姓添五左衛門後家

義八　四十一歳　天明八年　褒美

春伯　四十六歳　天明八年　褒美

孝次郎　六十一歳　天明八年　褒美

竹十　四十歳　天明八年　褒美

とと　四十歳　同時　褒美

孫重　三十七歳　寛政九年　褒美

助　三十歳　寛政十二年　褒美

とよ　四十七歳　明和四年　褒美

孝行者　同領久慈郡西宮村

忠義者　同領久慈郡芝井村

貞義者　同領多賀郡金沢村

貞義者　同領久慈郡栃谷村

孝行者　同領久慈郡太田村

孝行者　同領久慈郡左田村

奇特者　同領久慈郡新宮村

孝行者　同領久慈郡和田村

百姓父次平妻

百姓与五左衛門譜代下男

水呑百姓与兵衛妻

百姓平次郎妻

百姓与兵衛伴

水呑百姓八伴

庄屋

百姓平内後家

とめ　三十四歳　明和四年　褒美

八兵衛　七十一歳　明和四年　褒美

いと　五十九歳　明和八年　褒美

とと　五十三歳　明和八年　褒美

利平次　三十二歳　安永三年　褒美

傳重　二十歳　安永三年　褒美

五郎次　十九歳　明和八年　褒美

さよ　四十六歳　安永三年　褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　同領久慈郡和田村　百姓　居屋

孝行者　同領久慈郡落合村　百姓

孝行者　同領久慈郡下河合村　百姓

孝行者　同領久慈郡三ヶ村　百姓

孝行者　同領康路組大貫村　百姓

孝行者　同領久慈郡三ヶ村　百姓太郎右衛門悴

○孝行者　土屋但馬守領分筑波郡小田村　百姓半右衛門譜代下男

忠義者　同領新治郡中根村　百姓持八悴

孝行者　同領新治郡神宮寺村

孝行者　同領土浦城下大町　百姓

孝行者　同領同所　居屋

孝行者　同領土浦城下田宿町　百姓小八方

忠孝者　同領新治郡田土部村　名主ロ助方ニ下男

○孝行者　同領筑波郡小田西町　町人受判ニ而奉公ニ出ル

忠義者　同領土浦城下田宿町　百姓次右衛門悴

孝行者　同領新治郡高岡村　百姓

孝行者　同領同所　同娘

百姓　林右衛門　六十一歳　安永三年褒美

居屋　次右衛門　三十一歳　安永五年褒美

百姓　源重　三十一歳　安永六年褒美

百姓　大市　二十四歳　天明六年褒美

百姓　傳次郎　二十七歳　天明八年褒美

百姓太郎右衛門悴　利八　二十四歳　寛政十年褒美

百姓半右衛門譜代下男　傳六　五十八歳　寛政十三年褒美

百姓持八悴　太郎　十四歳　享和三年褒美

久左衛門妻　ミの　三十歳　同時褒美

百姓小八方　年七　三十二歳　享和四年褒美

名主ロ助方ニ下男　忠八　十三歳　享和七年褒美

三田百姓茂七娘　けん　三十七歳　享和八年褒美

町人受判ニ而奉公ニ出ル　次右衛門代　与右衛門　十二歳　文化二年褒美

百姓次右衛門悴　源四　三十九歳　文化八年褒美

同娘　せん　十三歳　同時褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

孝行者　百姓　幸八　三十九歳　安永二年褒美　新治郡沢谷村
孝行者　百姓　傳助　六十歳　安永二年褒美　新治郡成井村
孝行者　百姓　倩助事　倩七　五十一歳　同時褒美　同所
孝行者　百姓儀右衛門娘　いく　三十一歳　安永七年褒美　土浦城下田町
孝行者　百姓太平右衛門娘　政江　四十二歳　安永八年褒美　新治郡小山峠村
孝行者　百姓　小四郎　四十歳　安永八年褒美　信太郡大岩田村
孝行者　百姓持之允娘　源七　四十一歳　安永九年褒美　新治郡古渡村
孝行者　百姓孫右衛門娘　孫平次　六十二歳　安永九年褒美　新治郡土器谷村

孝行者　百姓　政吉　三十七歳　天明二年褒美　筑波郡東城寺村
孝行者　百姓伝五右衛門娘　志ま　二十八歳　天明六年褒美　筑波郡日川村
孝行者　百姓　又八　三十歳　天明八年褒美　土浦城下本町
孝行者　百姓七郎次娘　倖姜　二十二歳　天明六年褒美　牧野伯後寺領分茨城郡小幡村本田
孝行者　名主　久右衛門　五十五歳　天明六年褒美　茨城郡松田村
農業精　百姓　六左衛門　六十四歳　寛政元年褒美　真壁郡田村山ノ坪
農業精　百姓　基四郎　四十三歳　同時褒美　同所
農業精　同　若吉　三十七歳　同時褒美　同所

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

農業出精　同領　同所
孝行者　同領　百姓　代五郎　二十歳　寛政二年
農業出精　同領　同所
孝行者　同領　百姓　弥四郎　四十二歳　寛政二年
農業出精　同領　同所
孝行者　同領　百姓　久右衛門　五十六歳　寛政二年
農業出精　同領　同所
孝行者　同領　百姓　弥兵衛　四十八歳　寛政二年
農業出精　同領　同所
孝行者　同領　百姓　富平次　六十七歳　寛政二年
農業出精　同領　同所
孝行者　同領　百姓　六右衛門　五十二歳　寛政二年
農業出精　同領　同所
孝行者　同領　百姓　与七郎　二十二歳　寛政二年

農業出精　同領　同所
孝行者　同領　百姓　作右衛門　五十二歳　寛政二年
孝行者　同領　百姓　吉右衛門　四十九歳　寛政二年
孝行者　同領　百姓　吉四郎　二十歳　寛政二年
孝行者　同領　百姓　茂助　二十歳　寛政二年
孝行者　同領　百姓　茂右衛門　二十六歳　寛政二年
孝行者　同領　百姓　こう　二十七歳　寛政二年
孝行者　松平播磨守領分　新治郡府中平村孝助町　百姓　惣右衛門　五十九歳　享保十七年
孝行者　同領　新治郡府中平村善九郎町　百姓　次郎右衛門　十八歳　宝暦元年

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

孝行者　同領新治郡府中平村若松町　百姓

孝行者　同領新治郡府中平村泉町　百姓　長兵衛　五十七歳　宝暦十二年　褒美

孝行者　同領行方郡野友村　百姓　文蔵　四十一歳　宝暦十二年　褒美

孝行者　同領新治郡之村　百姓　源蔵　二十七歳　天明二年　褒美

孝行者　同領新治郡妻木村　百姓　勘兵衛　二十六歳　寛政元年　褒美

孝行者　細川長門守領分筑波郡西高野村　百姓孫左衛門娘聟女　かん　四十三歳　安永六年　褒美

農業出精　同領筑波郡臺町　百姓　左次兵衛　五十二歳　安永七年　褒美　左次兵衛妻　さん　四十三歳　同時　褒美

孝行者　同領河内郡之野村　百姓　源右衛門　六十五歳　天明七年　褒美　五右衛門妻　さく　五十三歳　同時　褒美

孝行者　同領同郡　百姓　要七　三十一歳　安永元年　褒美

孝行者　新庄騎河守領分行方郡麻生村　割元名主　長蔵　五十三歳　天明八年　褒美

孝行者　同領行方郡手賀村　百姓茂兵衛娘　さく　三十三歳　寛政二年　褒美

孝行者　同領行方郡高園村　百姓長兵衛聟　源次郎　二十六歳　寛政二年　褒美

孝行者　同領行方郡麻生村　百姓　傳六　五十七歳　天明四年　褒美

孝行者　松平大炊頭領分茨城郡笠戸橋元村　百姓　茂平　九十一歳　天明七年　褒美

農業出精　同領茨城郡羽鳥村　百姓

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

寺特者　同領　茨城郡随分附村
寺特者　同領　同所
農業出精　同領　同所
孝行者　松平陸奥守領分　筑波郡吉沼村
孝行者　同領　河内郡弁ヶ崎村根町
百姓
孝行者　同領　河内郡弁ヶ崎上町
百姓吉平後家
孝行者　塙田相模守領分　真壁郡乙下田村
百姓娘女房娘

○
孝行者　松平大学頭領分　茨城郡菱海成田村
百姓　清吉　天明七年　十一歳　褒美
組内　寺特者　同領　同所　寛喜　五十三歳　褒美
農業出精　同領　同所　百姓　三太郎　寛保九年　歳不知　褒美
孝行者　松平陸奥守領分　筑波郡吉沼村　当百姓之娘ニ而　三七助　延享三年　三十四歳　褒美
孝行者　同領　河内郡弁ヶ崎村根町　百姓　喜平衛　延享三年　二十七歳　褒美
孝行者　同領　河内郡弁ヶ崎上町　百姓吉平後家　ぬい　明和二年　四十七歳　褒美
孝行者　塙田相模守領分　真壁郡乙下田村　百姓娘女房娘　そん　宝暦七年　四十四歳　褒美

孝行者　同領　常陸郡津賀村　百姓　文四郎　宝暦七年　三十一歳　褒美
孝行者　同領　茨城郡菱海井ヶ谷村　組内　又七　寛政三年　五十一歳　褒美
孝行者　同領　行方郡武田成田村　百姓　新発　寛政三年　五十歳　褒美
寺特者　水野日向守領分　真壁郡関本村　開発方掛　西村七郎次　天明五年　五十六歳　褒美
孝行者　松平大和守知行所　新治郡下志筑村　百姓惣代　とら　宝暦十一年　五十二歳　褒美
寺特者　内田帯刀知行所　常陸郡大和田村　剖允名主　井川外記　天明八年　五十二歳　褒美
寺特者　同知行所　常陸郡勝下新田村　組内　弥惣兵衛　天明八年　四十七歳　褒美
寺特者　戸田采次郎知行所　常陸郡木滝村　百姓　向山伊左衛門　安永八年　四十八歳　褒美

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

○孝行者　同知行所　庶嶋郡谷水村　百姓　弥兵衛　五十一歳　天明三年　褒美

孝行者　松平宮内少輔知行所　行方郡小田村　百姓　金兵衛　二十八歳　寛政二年　褒美

寺特者　相馬采女正知行所　庶嶋郡源芝村　百姓　久兵衛　四十歳　天明四年　褒美

孝行者　政右衛門妻

水戸の城下下金町の高人政右衛門の妻老ある女
をもてり姑ふかく病んとするに政右衛門も
あやぶもて井より汲入まで
ひさごのいと出ふく妻ゝ
ものさうりありしかば
ものてそゝやをゆさつゝふく井ゝ
水源かりけゝ助けあ
ハ姑とりことのことまゝ親よ
あるれ人兄弟て助ゝ
かれいさもあるへき事
ものゝ生死乃ゝとも

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

この二人ハ井出うちの者ニ而女の方ハ
めつらの家のうら手ニ家保十二年三月ニ相果
候ニ付ハ此度ニ而ハ二度目ニ而ハ有之候
農業出精清兵衛
清兵衛ハ那珂郡上小瀬村壁沢四源入坪と申
五年已前ニ相果候百姓ニ而ハ有之候得共
る而ハ百姓ニ而ハ有之間敷ものニ候
こゝハ至而ハ困窮ニ而二年程已前ニ
日のよりたゝきて人ニ仕へ候迄ハ田地も
よあまり無之ニ付此度清兵衛ハ
居て妻子ともに耕作ニ力を用ひ又ハ紙をすき業
残して置候ひの助ニ相成候ニ付
家のこゝハ二人ニ而ハ合力しても
し兎角耕作ニ而ハ有之間敷ニ付ハ紙漉事を教へ兼而
而ハ仕ハ二人ニ而ハ有之間敷ニ付ハ紙漉事を教へ兼而
からうり家ニ而ハ有之間敷又ハ六町へ
あり山深く家ニ而ハ田畑も多く
あるゆゑ清兵衛ハ清兵衛ハ農業ニ
勤めさせ其外ニ而ハ紙漉ニ而ハ壁沢といへる
道ニ而ハ有之間敷ニ付ハ耕作

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

をいけこゝろの已ら私ら不まの
業に力をつくせい被ら居ける処い村の田よも荒
し候とゝりく〳〵とこのゆこのよ
ゐ寶暦十一年三月の報そこゝてもくやまめこゝて賞
せられを

孝行者新吾

新吾い郡村那上小濱村乃百姓ゐて祖父を武助と
いへるか迫ら次家産もともしくありけれ之田畑
も売うくし貧てけの新吾十ゐ乃ときら父母の
飢ふまふへきを事もあるへうら祖父のひと
を養ふのこゝ父母ともゐ仕へ又い
人の家ゐとかのて二三年かゐ粗い
里けら新吾十ゐ乃ときら父母の
飢ふまふへきを事もあるへうら祖父のひと
里故ゐ残りもくをつくら耕作をゐし移ふ事
乃ふらりけまい故ゐ助をもるら面有
こゝいふを迫い乃まくまと許せくよやうく故に
ゐり食物をもくめ起卸れ事ゐこくのもくゐく
抱せう荒ら田畑を新ゐおこて農事をこたら
さりしかいを犯ものも人ふるものの父母をも
家ゐむふとりその後妻も要ゐく夫婦協め

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

より一食よりうけまじハ人乃もとまて食物あこへられしゝ附添ハ物かへりて父母よりもとむ父ハこと乃ところ病おれハ筋なきことなれハ常おいへといふかもんよたりふとなく飯を側おありて介抱をしけり父うせまし後ハもも母おやくいふのうりふ与四兵衛かりともかりうけして貢もをこてりうく納そりうこのゝ能き男子ハ明和四年十二月小物をこてくをあこへ母ともく生涯稼技持をあもへくそ乃孝を賞せられしとそん

忠義者新六

新六ハ水戸乃城下石町お住る注屋長兵衛乃下男なりそとハ添おれ者なりくこれ家よつへしかゝむ称よそむく事なし一家長ひくら高恩道よんを用うまてとも附添節あくのよくなくそまてハ至乃介屋そのうちうるをうれへせり愛として

うのゝまもてお其日くよりあくまを添くくうちあれハ至食よりの衣類おくまてくまて

せ云こうちにうけもせとそして城下い来より機

湊よくあそうひもぬ迄そ毅物のあそひ

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

よろこたうことのひ[illegible]
ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

うけ闇姑いとも七十をこえて耕作乃ものせて孫をつれて畑のそばに
をり親里乃ものもてくるものを喰ひ老のつかれを休めつゝ
孫のそだてむつかしき病ある子をもちて
闇姑の年老いたるを捨おくことも
しばいさゝかも懈らせず老の事ひとつすゝと
ゑてうけ云ふ孫い親い情をもて
乃十二月うり年こ貧せてくれ次の年

の二月ゆくえも告ず出て
貧苦者ども
ここい那河郡湊村乃悪助二の妻ゟり夫い出奔ゟて出
闇も拾ふ百姓ゟるに病ゟ
おゐて貧さゆゑのなり
里許里位を経ていとまおろ
てゆくゑゟくして二人
のこゝに夫乃病いやまさりて
しいとゝてゐるもいとへるさま
をもてい寒さそ年こ

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

もれを悔うことまた祖母よの
膝そそいで河をさかのぼり死骸
こえてく波乃うそをさぐりあて
老乃身ながら病よそこまた夫なく
このていと程まもう次へことくく
かひくくしくの抱せて一のい安永四年閏十二月領主よ
里慶美ともて残を与へらまことこ

奇特者理左濱

理左濱い次郎兵衛成沢村乃年季の奴なりかつく田畑
乃坪有れどもいあるをもらまへ来の代乃居よもあま

こらくとくく年ひこまやうに経歴をこしく新田
のさくいをもちい枚の田畑とれ地をれ名跡まて
検地帳よ引合せいさこうもたりひるこまた
く村の日乃筵とせりあるい宝永つこそく未後のさ
りの物乃和又小里ながにつこたるこ畠乃ことい毎る
もれよるれるいそれ地を引くこ林をい方よりこは
けひ村乃田地日うけよるくりかんやうにまへくて
これをも画帳よかへ今掛く共毛よあり
ある古地代地ふくこひおうい
まくまてる地を墾くて百民をめくて入

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

百姓とも多年の地をくろうんやうにんを尽
しけるその志奇特なりとそく安永五年二月褒
ゟり数をあたへく褒美せらるそれ村ゟも二十
年あまりも組頭ゟり一度宿老ニ人まくに
よくつとひてそれを的そう組頭二人まくに
けるゟり一時も一人まくかたつと免更役ニ而役を
そなくなるまてすけ已ゟ組とゝなれ
ゟりこと年参程之清ゟの画図つゝり一冊もて差
ゟり出をいかにせく甚功をおせゟつゝ農事を怠
とめ貢納ゟ急ゟ候家の内ゟ
年回月ゟ書組をとらせく褒美せらるゝ

等特者八郎太

那珂郡小松津村八郎左衛門ゟ
ゟる八郎左とゝふものあり組頭ニ十石八斗あまりも
里の民を教へゟゟもゝ正月十三日ゟ二月十三日ゟ
をそれ家のあつめ農事ゟ勤めいのとゟ
冷村乃程ゟゝ主ゟゝてゟゟ
とすゟゟと年毎乃例ゟゝて怠る事ゟ
くゝなつゟもゝあまゝともも
乃村ゟゆゝめすゝまゝ村ゟ
ゟゝなゟゟ合せ稗ゟく

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

えへく飢人のさうひんあ
助をとゝのへこと事終
より安永の今まいたるまで
貢意を事なく村を
ろ〳〵のさまざまれ庄屋組
なりけるを領をよこと
まで〳〵時をへて九百姓二百六十八人を
いこさうも村里乃枚いく村人〳〵帰復を
備なる取沢村乃庄屋
奉仕困窮〳〵て未進まこと
も外おひめ多をりしを額さいうのもの〳〵村乃
のをとゝのひろ〳〵こまよ
砕きく枚をし〳〵未進も減し〳〵村の
こゝろ村乃をやこもうよろ
村人乃為をとゝのひ報領酒
て村人の教へさせ〳〵小を農業の
てこさをもつて世渡り
こゝの師をとゝのふ教をせく賞せろ

孝行者なる

久義乃稲葉村の百姓喜漆う妻をとゝのいろ

吏よりいとやく別まに置ハ老乃牙の国しるく乾坤も
人のまとをかれさるよう言人の叔父さへのうのなり稚
子もいのちこまりて家乃内乃をのさへく七人等う
なれも世波をも弁よなきあや様ニ成ゆを在ハ女の身に
て夜昼をおくるめ若と老の男乃まに〳〵て注ゆ外
已ハまさ〳〵まに食物をもろよやうなひしくめうろ
川越よゆ抱せ〳〵ハ人へくあれうの聲とりてよゆ
ことをめけまとともおくまうく家内の多にさをきり来
らんよハ弘へきこ人のあるへくもあらそをゆ〳〵ゆの人
を追へうとめくのてあ〳〵ゆんをといひてきうこのかまを女
乃男いつまくあゆこの家族を注ゆめやうよ事ハ
け事領をまりまに罗うの安ニ永七年十二月寝義

奇特者大場趙助

大場趙助ハ刈宿那ニ造村よりめりもくめハ庄屋
乃役をつとめ廿六ニもなめく年寄をゆ永ハ庄屋
ありくゆうよ村人を教へ孫ハなへてうこめ

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

ろろしめるへき事をいふの村の四境廣く狹き所
不知あるにさもの立うてうろ
めと組頭をとうてうろいてうろく和
こかいさるものもいりえさうろさまて
へんとうろく村人よく知て合をも
せけるふ貧さもあるにことをもう
つつことさせけるを明和七八の年さて日てり
せうふをのう田よりうろ田面よりあり
て粗こよまこのひねをうろうろしかね
引乃年ひろく皐苗をものこうろ

ろう次林とかるへき法よふ米をうろ
やうもんをうをとうて民乃費をとうろ
かうけまふそのよふ領主ふ安うろく安永四年
閏十二月報をあこへく賞せられ
とんをうてつとあしかふ天明二年十二月ふうろ
褒美の数そこうろとあうろうろ

寺特着帝雲濤

茨城郡玲雪驛村の百姓帝右衛門
こうろく兄弟のもみありある時熱右
の手右とふへるを住ふふよふうろ

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

しにいてくらうこも志らず病める猴の年吉よ死て
里けるを熟吉ふるらうも老母帰里て兄乃帝孫
こうとつまて」ハ帝無漆墨ことてをせつきけるにいも
あまこ不うの母まてく年吉ふうたり志り俄のも
よくの始物もをこさるのけまて」ハ
動さそるしぬも猶元を妻てをものしかと祇ふ
くら称ハ熟吉して祝とうう世耳れ猴をまくふ
よ称ふる程よつのよ祝をこうもりてまとあまふり
さるう〳〵領主より許へ今まて」ハ
て殺をあこへらまて」事しぬありかくふ天明

三年四月の事ハく熟吉ふ九歳とそ答えし

貞節者もよ

そよハ水戸の城下今町四町目の人別役安右衛門の妻ふり
天明のそしめ姑家よ嫁しそこの夫ハ病ひて
居しか日よそひて痛こをふうり耕作もおろさりふり
家素うり貧しこと程よ夫乃仮りをさけら畠ふも
人を雇て耕をこさかおれいか抱のいとあよハ農事
をもうせてしかと七月の比うり病こと不堪りけと牛や
物まて食物もそまて出れハ妻よもりいて貧しこさらん
よかうる悪疾をさ久更ぬまて」仮のいとるこをもみやめ

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

しかるべき小療養をつくせる事勿
論なるべきひまくいたくたくりそん
とく親里にくわいつ事なども再嫁をすゝめ
さるゝけ迚いふそうそくなり給ふと
も不孝男のはそそん事なきこと病乃事なまゝ
こゝろさうそんの仕つくりともに療養
をいふまいらすべしこゝ許やもとく
いおくめやうにあつらひぬ長こと
族をそゝめ知る人うりも考合かつこゝけれを薬
乃料なもあらさるけ迚いとりの名こゝ人のおく貧物り

いまだ小童代りくて醫者の教へし藥をもいとつゝ
合て服さゝりかゝる事を史乃事ゝくゝ
んとゝくをしめくせかいよくゝ貧しくるものにそれ
ゝ仕へて療治をもせやおのれしくゝ迚さあるもの人々
おのゝけるおたまもの志よ感しをも乃事を
いとゝめとかくしてゝ孫をそゝるこゝ
ゝふあまゝ小童乗をもいとゝあこゝてゝゝめて
んのゝゝりつゝけまゝやそゝ領ゝまもゝ事ゝ天命
ゝ年に為の日をおこゝらまゝしゝゝん

貞義者の元

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

の元八郎阿郎東野村ゟ来富三石六斗あり持ち
百姓義十二の妻たり支八二年あり病く農家の
いとまもあらざる姑初ご娘さへあり
生産のことかたへの一人乃力あらし夫も
ふたりの子乃あらんさりはくみ給らんく
とくいやまんをうて介抱せんにさせる
こういふ支も娘もうせよ
乃貴の来をまちあぐんでいうもとくこころ

おくもたりく田畠も狭薄ゟ出乃あくさをのこ残
して家退さをいうをつくしく家財もくものこさの
しかと程もたらい祢も親族のさりて姑不豫のもの
乃許ゟく患いのえい年もさりてい多る緩巻をなくぬ
ちんさをいうをのえさうとも姑のさりあのんまをうんそてさる
田めくさのいりいふ涙ともくさ夢もいれを姑ものえっこ
一月の板いを脱ひそれ抱をうけあり〳〵来んさし
か親族もてあつめてその介抱をのんの但せくよの丸経を
ゟ田畑をいりくく農事の暇あまい来綿

をもとめおくこと種々の苦労ひうるく
うり共未だ其償ひ年毎の貢もこゝく
事ありしかたくひまれるものありとく天明
八年七月領主の褒美とうけて有目をあらへら

農業出精者

おほい郡河和東野村のやもめるう吏ハ去る酉十
人組の改役して家内のものとへくセ人ぐらせて
と和病おもく剰支とこゝろいそのあうて男うせぬ
為てうり貧さうんこうこゝろ残迄るりまた
い雑と孫のこゝる迄いかを誰をんをしくもおく村の
長親族乃ちひ姑よハ二歳の娘をそへて親里よう
しけまと病の中ハ費貧納むへき料をこれれ数
多あしかい不縁のもおくかよも及ぶとも家族をそ
をの迄くかの家のおかち書ひ田畑家財を賣代あし
そハ償ひおあくともを謀里たるよ家男いかあ
る親若をおとともあくく孫をも育たて百姓の
営させさとへさ不意あれいうのもして田畑をハ
残しく亜上乃金をこひたまてまう
て貢を納め年こもるやうの迄したてまるへしる
とゝひ入くこひまかいもうくてそのに

住せけるより移て後い二人の孫の兄は九つの妹はおひしな
里けるを伴ひて九石より除る田畑を耕し農事の
暇にハ女の業をも急らもとそけさ二疊業かこ
ら貢をも納里るくさてけるこひろせて金を
も廻し納め孫よりもおさおさうるの田畑乃ふえ
ら住ありしかハ今ハおしれ助をともるれ里ハ既に
絶へき家を興さ始め給里ハ女の身よいあるひな
しとろく須臾らの残を与へて安楽せらまつハ天明
八年七月の事なりけ年まつ六十二歳とそ

孝行者巻七

郷村郡八田村乃百姓喜七ハ年ハ五十ハ歳ハ妻と病ある兄の
ありけるかこもよ目しまて世渡里ハ兄助よもるる家乃
貧さいふそうのきハ極隣ありしハ田畠乃番地をそ
九石ハ斗あまりもちて能徳もえしまさハりけるく
耕作よ力をそしまて稼事ふとあるハ人の休らふ時も
更よやすまの次暇あれハ縄をなひ俵を編ひ延をとりて貢納
りん役とおしまて人よもすれてそうの妻ハよ
里愚なる生質なるくふさふりけるといさかも
それのよもよさうらん次里しまて況妻をもめとらし
ハ姑姉の中らひ睦しくもあらさらけまハなくく

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

乃事業をつとめ耕作を出
時は毎日事をせて食
こゝのとく愚なるもれ
せる事多ければ小豆飯乃
畠をつゝ能帰りをまち
ふしけれ共ひとり営の中より医者をもこ
四人招きて療治をこひ好めるものゝとくしく
あこへとゝりもる家居
しけれ共母乃食の冷ぬるを
して姑をやしなふはをつく

なくて七十九歳にてこのゝ領主小とき
元殊をとりせつく賞せられ
とぶん

孝行者里川

里川ハ那珂郡八田村乃百姓長左衛門
後の妻乃男を婚おとりしまん
と面畠をもあらして八反余
か父母ハ老衰へ殊をけ
日のもれ飢よも及ひるんと
の田畠を二人おつく耕し

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197
ガラス使用

ものの人お頼と云を洗ひ清をこゝてそ乃
労にかゝり暇あまり八縄をうひ系をそろまこゝ巨魔
をゑこゝろまつ外高ゑをもまつ
たゞけとゝこゝ二親の酒をこゝのめるよう鶴な
とうゞとてそゝめゝ外家の業ゑ巨ゑ慈へゝつて
あゝこゝ幸ゝいこゝろゝめもこゝかゝしめゝたゝく孝業ゑ
者ゑゝ称ゝ天明八年七月領主のこゝろゝふゝのゝく
残の褒美あこゝらまゝこゝろ

孝行者若重

孝行者与重

那珂郡後基村の百姓利兵衛ゝ若重与申ゝ者
もゝあり父八田畑四石八斗あまり
当実ゝゝく耕作をこゝ巨ゝ貢ゝてあんゝ外お閣
乃指をゝり時ゝこゝて領主ゝゝ
巨ゝ二人のゝゝもゝ励めやゝゝ教へゝさゝゝてうゝゝゝ巨
その青乃与重をこゝ人の業ゑ
ゝゝもゝるものもありゝゝかゝとそ
ゝゝの四方ゝ称ゝゝれゝゝゝゝもゝ
こゝゝ別ゝ百姓のゝとゝおこゝとゝゝ
ゝゝゝ随ゝゝゝ巨おゝ病ゝへ多ゝ産業もゝ

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

おくけ迄いそのゝ乃ゝ女ゝもあらそを宝ゝくる迄
引けるゝ小兄ゝ者れものゝくるゝくゝおゝのゝてゝそゝの
ゝくゝゝもゝ回くゝそゝて父乃ゝ衣ゝ者とけゝさせゝともに
側ゝおゝりゝてゝそゝのゝゝ未ゝ見ゝ果ゝゝん事ゝを称ゝひゝ兄ゝ者
小家をゝつゝくゝあゝこゝへ田地ゝをゝもゝ今ゝちゝゝん事ゝをゝつゝに
心ゝへゝ者ゝ兄乃ゝ田畑滅ゝゝてゝゝそゝゝまゝひゝおゝろゝゝま
ん事ゝをゝう迄ゝへゝくゝさゝろゝふゝうけゝのゝゝゝを兄ゝ者ゝを
をゝゝこ者ゝ兄ゝを敬ゝひゝて瞻くゝゝゝゝゝ二人ゝの妻ゝも老
ある男姑ゝをゝつゝくゝる事ゝ能ゝちゝりゝこゝ幽年ゝをゝそゝのゝ
領ゝ主ゝの赦ゝゝを始ゝくゝやゝうゝくゝゝおゝそゝの日ゝをゝ存ゝれゝる資

さゝれゝゝも父母ゝのゝ事ゝたゝるゝ者ゝのゝひゝゝゝてゝんゝゝゝ
ゝゝろゝゝしゝめゝつゝまゝゝ親ゝのゝ者ゝゝゝゝゝゝゝ
ゝろゝはゝそゝれゝんゝゝゝさゝふゝゝおゝくゝゝゝこゝ抱ゝりゝてゝ耕ゝ作ゝゝゝ
けゝゝ農ゝ事ゝれゝ晩ゝゝゝ新ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ世
渡ゝれゝ助けゝとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

百姓吉郎左衛門ふるり人となり四拾餘年の
ふんおさうさうに食物よりもさへくれ初おいてさるまて
ものこゝろとなくさるゝ事なく其のはゝ祖父露膝風
といふ病ふくありく事もかなはされいろ〳〵の業を
このまゝのこゝろにいさてこのいとふ事もなく励めやか
小仕へさこゝ栄の助うの業をひろい十一
二の頃より祖父母のおこゝろにしたがひ家業せんし
て指備よく仕へ事ありて往来のもうみちと父母のおそれ
ハ迎さこ隣乃ちも稚さものゝ小いめろうの地ふとおめ事と
なりけれ共吉郎ハ常に父母のおこゝろにしたがひ家業
ひろくつとめ父母のおこゝろにしたがひ家業
ひろくつとめ父母のおこゝろにしたがひ家業
ひろくつとめ

彼この振舞ありてより父母乃ちにも
のごとぬるものゝありしかとそれ父のうるさく叱
ごとくおもうの心地して成長せしかと祖父の
ひぼせられいさゝかの暇もなく乃ち家の業を助
老父は村乃内のお座もされもしてもこの事乃やうよう力
を尽しく食物をとゝのふるくらゐ
そこそこ家古着ともたおくんあしさ朽も父
母のこゝろくこゝろん事を教てをしへくれ
とさ決りよおもひとりてこゝろけるをいとせしなを
を小事もあれ大事もみけよいらへてそれこゝを益と

のうしへ心四年ぶりの妻もあこと更よ
ろこびて孝養深こうむこと村の内よ不幸ものと
ハ百姓小さうひ乃事ものとくこゝろを
繁忙もいとゝ喪のごとくこゝろを助しとそやうく
領こまよ受そうへいい技特来とあこへてその孝を賞
せしとるん附ハ室暦十年十二月乃事ものさ

孝行者也ん

也んハ筑波郡小田西町乃民爰七う娘ありし父もとうり
貧しこさ者ありく宅地もかくくの地をかりて住
若こさ附ハ高ひおとしそう寛延乃ころめ也んう年お

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

乃業妻を先こして已も同さこと三年ありて
一族又ハ隣家のものおさなけれよりて世を渡まて
をらんその活計ハ機を〳〵ありひ日こ人よ
やとひれおとりてあらく共三年かあひだそのハ
業の儀後をあらく父を養ひさいつも雇ハれ居よ
ハ為あけぬさきよりおれたる父の食事をとゝめ一日乃
事ともも設をとゝく出るう隣家の人よ為里の夫
乃元気と転こと亜なくそれらの人よ雇ハれて
ハ価も更よこ更さりひ〳〵人もせんこと
米穀やうの物をとり賄ハりて今ハ〳〵暑さ最ハ厳こうあるうをとゝく雇ハれ
ゐさこりのハ父病ひ埋火して
とゝくも人のまよ伯母をを義養ひて煙あつる程
のオの上おれと日小給乃内よ凶事ありて
賄の出り二年ありのあまハ
人ありまゝと父のおらん程ハうけ引へゝとも
まゝこうハ父のいまさん程ハ宝倍あらく孝養あるへ
し〳〵弱ちりあらくもこゝをのんとひ為る人ハ父をも
いさる人うをとりひそれと弱し〳〵亜てもたのこと
ものなまハ父乃世やをもるへくもあらぬ

よめをむかへとりて父のふうひやあらん
とふもおくまも此侭まいりてまつこゝろ
をとこのこ領主より賞をけ是ハ明和七年三月褒美
せしとかん

孝行者なん

なんハ茨城郡菱海飯田村の百姓喜右衛門ふう娘なり父の
喜右衛門ハ漁の業をかねてまとハ家豊かりしを彼
う男を聟よとりしかも多病みくその業よくせさり
しハ縁さりてつゝや里こうくて漁ハ猟もそくくく
くう称ハ世渡りもひしくなりてまくも聟とらん
とそのこゝにて元人のよめこそくく筆もめとり
そうて孝ひそのハ人の子も海よ入くう世田畑もう
里こうくハ二石のこもちてまうう
或ハ人の雇われとなりてそうう秋とりて田作り弐、
人の為よ洗濯して日毎よ二合之合の米買取さう
あれ父ハ豊よそうせしむこのくを思ひいてそよ
かくよ歩歌笑し朝夕の食事も精くし死ものこゝろ
めとハ稽くし死ものとりはしくてそ
日にてそひくのそ事一の常にあり
かもまうせとくてぬそうあれハこゝをなく

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

ろ〳〵てとりもやうのいと美しき紙をあつさ数帖もそへあれハ数やりて、そのあり〳〵けるのくて二十六年の冬村ノ〳〵の情ろて領主より壱貫文ツ〳〵事村ノの情ろて領主より壱貫文ツ〳〵

八月報をあつへて賞し給ひけり

孝行者弐人

弐人ハ麻畠弘谷両村の百姓りその母年久し〳〵全ときこゑ病よりて膝ときりしかゝ歩行ハ称んよりつゑ杖よこ便よ心ゑそくおもひ治させていさゝかのあたひをもおくりこしけるの思ハぬ足を労ハ

て饑め斐の日ハ涙さ雨よりまし折て暑さを凌ひせつゑもあるこゑ迩へあれと母のくよりるハぬをもてうれかゝやつと農事せ〳〵こいも心を用るく営と耕作よおてもおもくゆりて能よ進めまりと遠ときよゆく外をかゝ抱〳〵食物をも恐りよ事のまゝのこるうゑ踏て母の年をとりて久しくを守るゝもの母の称んよりをとりて久しくこゑよ帰りとろなと更へく九斐衰幾事ゑ〳〵天晴こゑ田作よ通ぬれ村老の老うりて堪ぬよりて〳〵せ〳〵こゝハあるもの〳〵をとひるめて甚幸の十二月母そる

永年をおくこへ次の年名主をとうひて永き労を
賞義し結をもてとらせよとの文年貢のうち
そこそくとのそきこ四年ゐ事ふらせておふきこ若ひ
ものこと名主百姓のゐ知をそむく事ありしう被
う善心うくまこゐれこをも免されしそそ

孝義録巻之八

136
50
197

国立国会図書館　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『孝義録』　請求記号 136-197

ガラス使用